操作方法

ホタルック機能を使用しない場合、保安球ユニット(本体側)の残光スイッチを「切」にしてください。

■リモコンで操作される場合（ホタルック機能の「入/切」の操作はリモコンで行うことはできません。）

CH切替スイッチ
リモコン信号の送信チャンネルを設定します。

① メモリーボタン

メモリーボタンを押すと、記憶された明るさで主光源を点灯させることができます。

※明るさを記憶させるためのボタンではありません。

■明るさを記憶させる方法（注1)(注2)

1	主光源を点灯させて、記憶させたい明るさに明暗ボタンで調光する。	⇨	2	消灯または保安球ボタンを押す。〈記憶完了〉

（消灯直前の明るさ、または保安球に切り替える直前の明るさを記憶させる設定となっています。）

(注1) 壁スイッチの操作によって、記憶させた明るさが解除される場合があります。
(注2) 全灯で上記動作を実施した場合は、50%の明るさを記憶します。

② 連続・多段調光(暗・明) ボタン

お好みの明るさにすることができます。

短押…明るさが次のように切り替わります。
全灯↔70%↔50%↔30%↔10%
長押…連続で調光できます。
全灯←――――→10%

注意事項
- 全灯及び10%点灯時に「ピッ」と音がなります。
- 消灯状態では、反応(動作)しません。
- 保安球の明るさを変えることはできません。
- 連続調光は100%～10%の範囲において10段階の明るさで変化します。

③ スリープタイマーボタン

60分、30分のタイマーの設定をすることができます。

■スリープタイマーの操作方法

◆60分後に消灯させたい場合
スリープタイマーボタンを1回押す。 ➡ 確認音「ピッ」【設定完了】
※主光源が消灯している時は設定できません。

◆30分後に消灯させたい場合
スリープタイマーボタンを3秒以内に続けて2回押す。 ➡ 確認音「ピッピッ」【設定完了】
※主光源が消灯している時は設定できません。

◆スリープタイマーを解除したい場合
スリープタイマーボタンを1回押す。 ➡ 確認音「ピーッ」【解除完了】

スリープタイマー(60分、30分)消灯させる時、保安球点灯/不点灯をチャンネルスイッチによって選ぶことができます。

●チャンネルスイッチがCH1の場合（保安球を点灯させておきたいときにご使用ください。）

点灯 ➡ オフ(消灯)時間 消灯(保安球点灯)

●チャンネルスイッチがCH2の場合（保安球を消灯させたいときにご使用ください。）

点灯 ➡ オフ(消灯)時間 消灯(保安球点灯) ➡ ホタルック点灯 ➡ 消灯

※必ず照明器具本体のチャンネルスイッチと合わせてご使用ください。

注意事項
- リモコン以外ではスリープタイマーの設定はできません。
- 確認音が鳴らなかった場合は、設定されなかった可能性がありますので、再度設定をしなおしてください。
- 設定を変更したい場合はいったんスリープタイマーを解除し、設定しなおしてください。
- スリープタイマーが設定されているかどうか、本体及びリモコンで確認することはできません。
- スリープタイマー設定中に、リモコンや壁スイッチで消灯させた場合や、停電などで電源が2秒以上OFFになった場合は、スリープタイマーは自動的に解除されます。

■壁スイッチで操作される場合　弊社形式：HLDZE＊＊＊＊, SLDZE＊＊＊＊

壁スイッチですばやく（約2秒以内）OFF→ONすることにより次のように点灯順序が切り替わります。

※リモコンで消灯した場合に、壁スイッチですばやくOFF→ONすると記憶された明るさにて点灯する場合があります。
※壁スイッチをOFFにするとどの点灯状態でもホタルックが点灯します。(残光スイッチ「入」のとき)

定格

形式	定格電圧	定格周波数	入力電流	定格消費電力	
弊社形式：HLDZD＊＊＊＊, SLDZD＊＊＊＊	AC100V	50Hz/60Hz	0.54A	全灯時：53W	保安球のみ点灯時：約1W
弊社形式：HLDZE＊＊＊＊, SLDZE＊＊＊＊	AC100V	50Hz/60Hz	0.62A	全灯時：61W	リモコンOFF時：1W以下

LED照明器具の光源の推定寿命は、40000時間です。光源寿命とは点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。※40000時間は、寿命を保証するものではありません。

お手入れのしかた

お手入れの際は、安全のため電源を切ってしばらくしてから行ってください。

- 点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。
- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6ヶ月に1回程度）に清掃、点検してください。
- 器具全体に水をかけたり、水の中につけて洗うことは絶対にさけてください。
- ベンジン、シンナーなど揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質の原因になります。
- カバー等、樹脂部分の汚れを取るときは、柔らかい布に石けん水(中性洗剤)を含ませて汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないようよく拭き取ってください。

故障？と思われたら

ご使用中に異常が生じたときは下表を参考にお調べください。下表以外の故障と思われるときは、電源を切り、お近くのNEC製品取扱店にご相談ください。

なお連絡されるときは器具の形式名及びお買い求め時期をお忘れなくお知らせください。形式名は器具本体部の器具ラベルに表示しています。

症状	主な原因	処置
点灯しない	コネクタが正常に差し込まれていない。	器具の取付方法の「3. 電源を接続する」を参照してください。
	照明器具の壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
点灯しないときがある	リモコンでOFFにした後、壁スイッチ2秒以上たってから再度壁スイッチをONにしている。(消灯状態をメモリーしている)	壁スイッチコントロール機能を使用するか、リモコンの各ボタン操作して点灯させてください。
照明器具を操作できない	照明器具の壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	リモコンの電池が残り少なくなっている。	「使用上のご注意」を参照のうえ、電池を交換してください。
	リモコンの電池の極性⊕⊖が間違っている。	「電池の入れかた」を参照してください。
	チャンネルスイッチが合っていない。	器具の取付方法の「4. チャンネルを設定する」を参照してください。
	リモコンにニッカド電池などの充電式乾電池を使用している。	「使用上のご注意」を参照のうえ、電池を交換してください。
ホタルック機能が動作しない	保安球ユニットの残光スイッチが「切」になっている。	器具の取付方法「5.ホタルック機能を設定する」を参照してください。

NEC 照明器具
LEDシーリングライト
保証書添付　保存用　**取扱説明書**

364−990　HLDZセツメイショ2（チョウコウ)ホタル

- このたびはNEC照明器具をお買い上げくださいましてありがとうございます。
- 取り付けの前には必ずこの取扱説明書を最後まで読み、正しく施工してください。
- 取付工事が終わりましたら、この説明書はご使用になるお客様が保管してください。

注意図記号とシグナル用語の意味について

⚠ 警告	誤った取扱をしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるものです。
⚠ 注意	誤った取扱をしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくものです。

- ⚠：この記号は、注意(警告)をうながす内容があることを知らせるものです。
- ⃠：この記号は、禁止の行為であることを知らせるものです。
- ❗：この記号は、行為をお守りいただく内容を知らせるものです。

器具取付時の安全上の注意

ご使用の前に、この「器具取付時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

- 風呂場など、水や湿気の多い場所で使用しないでください。漏電し、火災・感電の原因となります。
- 器具の取り付けは、取扱説明書により確実に取り付けてください。取り付けに不備があると、器具の落下・感電・火災の原因となります。
- 器具の取り付けは、重量に耐える所に取扱説明書にしたがい確実に行ってください。取付けに不備があると落下し、感電・けがの原因となります。
- 電源線接続の際は、器具の取付方法によって確実に行ってください。接続が不完全な場合は、接続不良による発熱、火災の原因となります。

注意

- 器具取り付けの電源工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。一般の方の電源工事は、法律で禁止されています。
- 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となることがあります。
- 天井の取付面の構造や材質により、取付面が変色等を起こす場合があります。
- この器具は屋内用です。5℃～35℃の範囲内で使用してください。屋外で使用しないでください。屋外で使用すると、漏電し、感電・火災の原因となることがあります。
- この器具は非防水です。湿気、水気のあるところで使用しないでください。湿気、水気のあるところで使用すると、感電・火災の原因となることがあります。

使用時の安全上の注意

ご使用の前に、この「使用時の安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

警告

- お手入れの際には、必ず電源を切ってください。電源を切らないと、感電の原因となることがあります。
- お手入れなどによりカバー、本体を外し、再度取り付ける場合は、取扱説明書にしたがって確実に取り付けてください。不完全に取り付けると、落下してケガ・物損の原因となることがあります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切ってください。異常状態がおさまったことを確認して電気店に修理を依頼してください。
- 光源にはLEDを搭載しています。安全上、LED光源を直視することはおやめください。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしないでください。火災の原因となります。
- 部品の追加改造は絶対にしないでください。火災・感電の原因となります。
- 器具の隙間や放熱穴に、金属類やもえやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。

注意

- ⚠ 壁付調光器のある回路では使用できません。照明器具が故障します。
- お手入れの際は、水洗いはしないでください。火災・感電の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検してください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店、電気店に修理を依頼してください。
- お手入れの際は電源を切って、しばらくしてから行ってください。点灯中・消灯直後はLED光源及び本体が熱いので手や肌などを、ふれないでください。LED光源及び本体周辺を触ると、やけどの原因となることがあります。
- LED光源にはバラツキがあるため、同一形名商品、同一適用畳数商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- LED光源ユニットは、通常のランプのように客様自身での交換はできません。
- 万一、カバーなどが破損した場合、ケガの原因となることがありますので、破損部分に直接手や肌などをふれないでください。
- 暖房器具、ガス器具等の真上やその付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。(この製品は5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)
- 照射距離が近い場合や照射面等によって光ムラが発生することがありますがご了承ください。

使用上のご注意

- ■本体を分解したり、改造しないでください。火災などの原因になります。
- ■精密機器のため落下などの衝撃を加えないでください。
- ■点灯中や消灯直後、カバー等のプラスチックの伸縮により、「ピシ・ピシ」、「ポッ・ポッ」という摩擦音が生じることがありますが、器具の故障ではありません。
- ■本器具に添付のリモコン送信機は、当社リモコン照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。また、テレビやビデオのリモコン送信機では、照明器具は作動しません。
- ■器具の近くでラジオや赤外線リモコン方式の電気機器を使用されますと、雑音が入ったり、リモコンを操作しても作動しない場合があります。
- ■壁スイッチで電源を切った場合及び停電の場合は、リモコン送信機で操作しても作動しません。壁スイッチON及び停電復帰後は、壁スイッチを切る前又は停電前の状態にもどります。
- ■本器具をご使用中あるいはリモコン送信機で消灯させた状態で停電した場合、停電から復帰したときは停電前の状態にもどります。
- ■この器具はリモコンスイッチで消灯してもリモコン部の回路が約1.0Wの電力を消費しておりますので、節電のために長期外出時には壁スイッチを切ってください。
- ■3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見えることがあります。
- ■液晶テレビなどを視聴している時は、リモコンが反応しにくい場合があります。
- ■リモコン送信機は器具に向けて操作してください。リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、器具が作動しませんので、しゃへい物を取除いて再度ボタンを押してください。
- ■照明器具にリモコンの信号が届く範囲でご使用ください。＊部屋の温度によっては、リモコンが動作しづらいことがあります。
- ■天井や、壁、床の色や材質によってはリモコンが動作しづらいことがあります。
- ■乾電池の寿命は、マンガン乾電池1日10回使用の場合で約6ヶ月です。
- ■ニッカド電池などの充電式乾電池は使用できません。
- ■乾電池は、単3形乾電池をご使用ください。
- ■乾電池は、+・−の極性を正しく入れてください。
- ■シンナー、ベンジンなどの揮発性のものやアルカリ系洗剤などを使用して本体を拭かないでください。外郭強度の低下、変色、故障の原因になります。

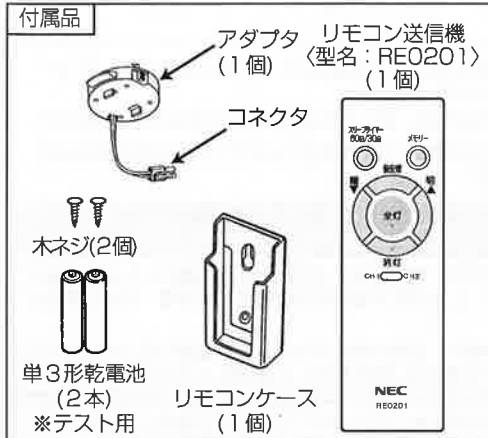
NECライティング株式会社
東京都港区芝1-7-17
〒105-0014　http://www.nelt.co.jp/

<お客様相談室>（土、日、祭日は受け付けておりません）
フリーダイヤル 0120-52-3205　受付時間：平日9:00～12:00　13:00～18:00
FAX. 03-6746-1521

※この紙は再生紙を使用しています

各部の名称

この図は一部省略抽象化した共通()部品図です。
機種によってカバー形状が異なる機種もあります。

付属品

取り付けできない天井

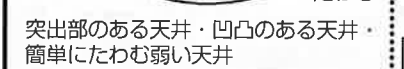
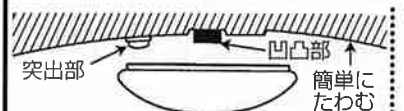
1.下図の天井には取り付けできません。

突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ弱い天井

変形天井 ななめ天井

格子天井

サオブチ天井

要チェック

サオブチ天井に器具を取り付けたいという方に・・・

下記のサオブチ天井では使用できませんので必ずサオブチヨウアダプタを購入する前に天井の状態を確認してください。

必ず守る

〈サオブチ天井に取り付ける場合〉

NEC製LEDシーリングライトは、別売りのサオブチヨウアダプタ4（699-8475）を使用していただくことでサオブチ天井に取付可能となります。取付方法については、サオブチヨウアダプタ4に添付している取扱説明書に従い確実に取り付けてください。木ネジ2本で取り付ける方法の為、天井に穴があきますのでご注意ください。

■取付場所を確認してください。
下記の竿縁以外には取り付けないでください。

2.下図の場合は、電気工事店か販売店にご相談ください。

配線だけのもの

欠け　ヒビ割れ　破損しているもの

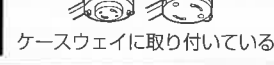
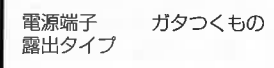
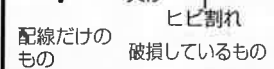
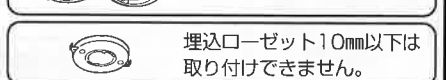
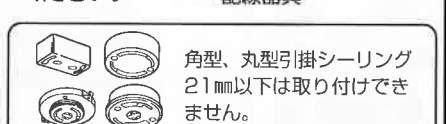
電源端子　電源端子露出タイプ

ガタつくもの

ケースウェイに取り付いている

次の配線器具は、出しろを確認してください。

角型、丸型引掛シーリング21mm以下は取り付けできません。

埋込ローゼット10mm以下は取り付けできません。

電気工事は電気工事士の資格が必要です。工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取り付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

ホタルック機能

ホタルック機能は、下記いずれかの方法で主光源または保安球を消灯した場合、自動的に点灯し、淡いブルーグリーンの光でお部屋を照らします。

- ○リモコンで消灯したとき。
- ○壁スイッチで消灯したとき。
- ○停電で消灯したとき。

ホタルック点灯は、約2～3分の間に徐々に暗くなり、自然に消灯します。

ホタルック機能の設定方法は器具の取付方法「5.ホタルック機能を設定する」を参照してください。

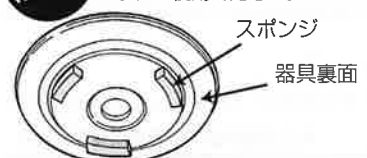
取付上のご注意

壁付調光器のある回路では使用しないでください。

⚠注意

本器具を取り付ける電源回路(壁スイッチ等)に調光器が接続されている場合、ランプが正常に点灯しなかったり、器具が故障することがあり使用できません。
下図のような調光器が接続されている場合は必ず調光器を取り除いてください。
(調光器の交換工事は電気工事店に依頼してください。)

調光器付壁スイッチ《代表例》

注意　器具裏面についている黒いスポンジ(3コ)は、取り外さずにご使用ください。

器具の取付方法

器具の取り付けを行う際は、感電等の事故防止の為、必ず電源を切って行ってください。

1.天井の引掛シーリングを確認しアダプタを取り付ける

取り付け可能な引掛シーリング
(下図の引掛シーリングであれば取り付け可能です。)

- ●ガタつきや破損がないことを確認する。
- ●アダプタの引掛金具を引掛シーリングに挿入し矢印方向にカチッと音がするまでまわしてください。

引掛シーリングの形状によって取付方法が異なります。

・角型引掛シーリング　出しろ

引掛金具　アダプタ　赤いボタン

・丸型引掛シーリング　出しろ

・丸型引掛シーリング　出しろ

・埋込ローゼット　出しろ

・引掛ローゼット　出しろ

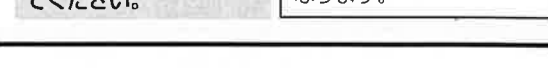
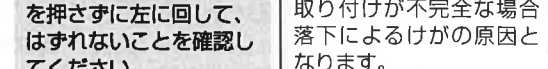
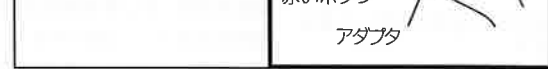
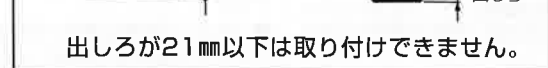
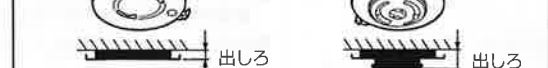
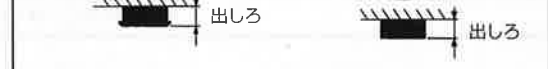
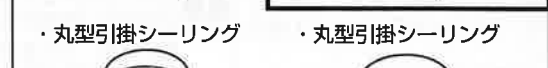
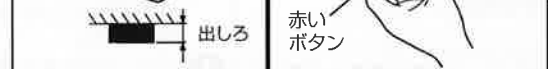
出しろが21mm以下は取り付けできません。

出しろが10mm以下は取付できません。

重要ポイント

取り付け後、赤いボタンを押さずに左に回して、はずれないことを確認してください。

⚠警告

落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合落下によるけがの原因となります。

2.本体を取り付ける

①1段押上げ（仮固定）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ本体中央部を天井に押し上げる。

※本体は仮固定の状態ですので本体はグラついています。

⚠警告　まだ本体の取り付けは不完全です。この状態のまま使用すると、落下によるけがの原因となります。

②2段押上げ（取付完了）
さらに強く押し上げる。

重要ポイント

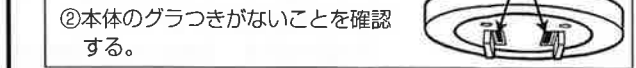
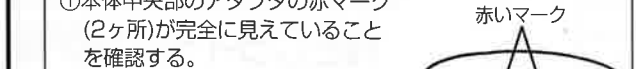
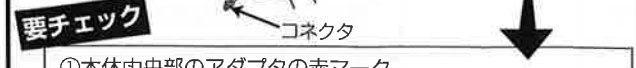
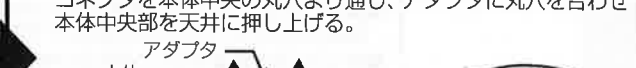
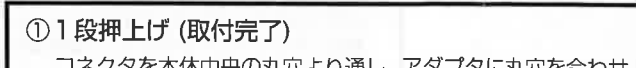
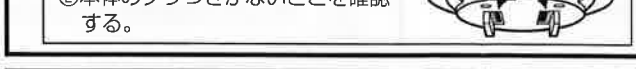
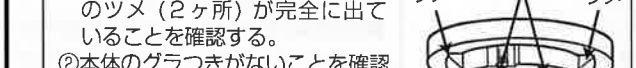
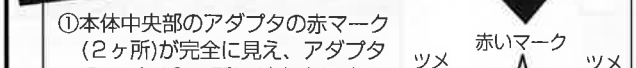
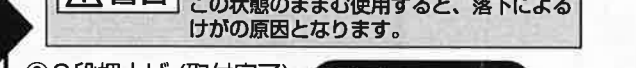
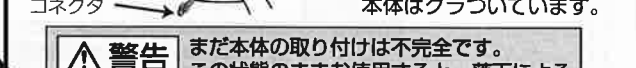
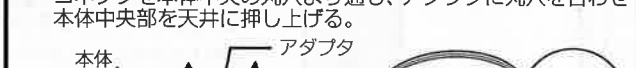
要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見え、アダプタのツメ(2ヶ所)が完全に出ていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

①1段押上げ（取付完了）
コネクタを本体中央の丸穴より通し、アダプタに丸穴を合わせ本体中央部を天井に押し上げる。

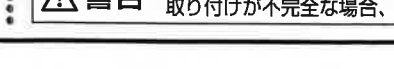
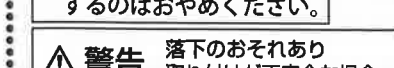
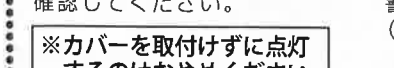
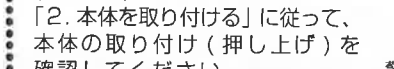
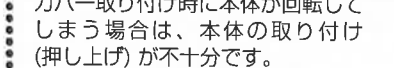
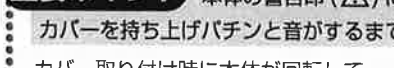
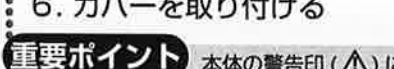
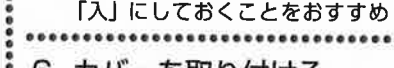
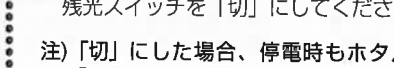
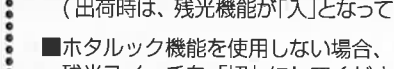
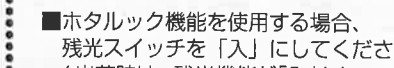
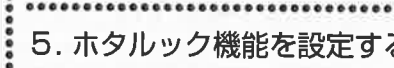
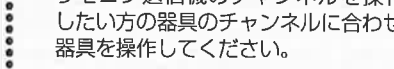
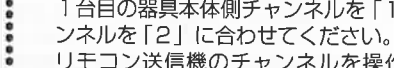
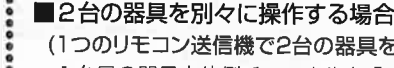
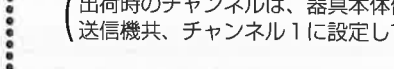
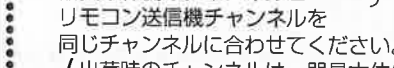
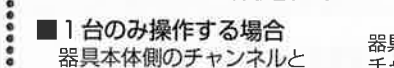
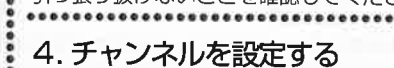
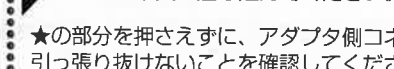
要チェック

①本体中央部のアダプタの赤マーク(2ヶ所)が完全に見えていることを確認する。
②本体のグラつきがないことを確認する。

これで本体の取り付けは完了です。

3.電源を接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに確実に差し込んでください。

★の部分を押さえずに、アダプタ側コネクタを引っ張り抜けないことを確認してください。

アダプタ側コネクタ　本体側コネクタ

4.チャンネルを設定する

■1台のみ操作する場合
器具本体側のチャンネルとリモコン送信機チャンネルを同じチャンネルに合わせてください。
（出荷時のチャンネルは、器具本体側・リモコン送信機共、チャンネル1に設定しています。）

CH切替スイッチ　器具本体側チャンネル　CH切替スイッチ

■2台の器具を別々に操作する場合
(1つのリモコン送信機で2台の器具を別々に操作することができます。)
1台目の器具本体側チャンネルを「1」、もう1台の器具本体側のチャンネルを「2」に合わせてください。
リモコン送信機のチャンネルを操作したい方の器具のチャンネルに合わせ、器具を操作してください。

5.ホタルック機能を設定する

■ホタルック機能を使用する場合、残光スイッチを「入」にしてください。
（出荷時は、残光機能が「入」となっています。）

■ホタルック機能を使用しない場合、残光スイッチを「切」にしてください。

残光スイッチ

注)「切」にした場合、停電時もホタルック機能が動作しないため、「入」にしておくことをおすすめします。

6.カバーを取り付ける

重要ポイント　本体の警告印(⚠)にカバーの警告(⚠)を合わせ
カバーを持ち上げパチンと音がするまでカバーを右にまわしてください。

カバー取り付け時に本体が回転してしまう場合は、本体の取り付け(押し上げ)が不十分です。
「2.本体を取り付ける」に従って、本体の取り付け（押し上げ）を確認してください。

※カバーを取付けずに点灯するのはおやめください。

警告印　警告印(外面)　本体　カバー

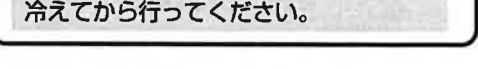
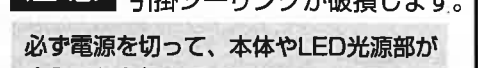
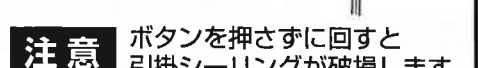
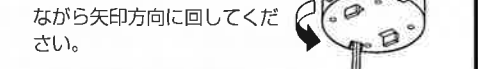
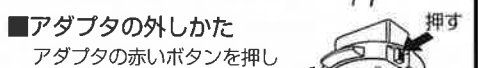
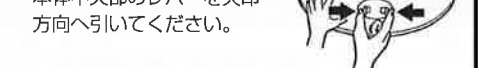
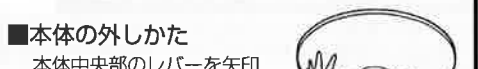
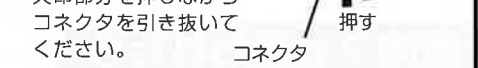
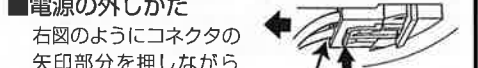
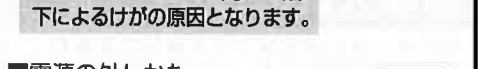
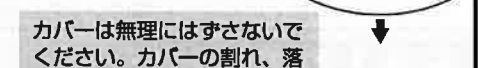
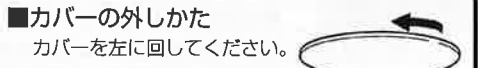
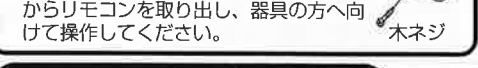
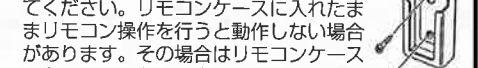
⚠警告　落下のおそれあり
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

リモコン使用の準備

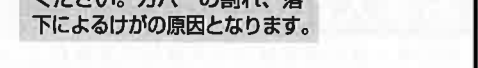
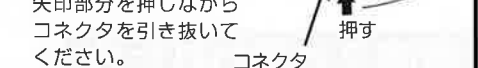
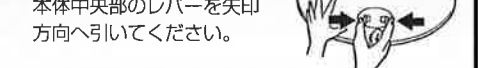
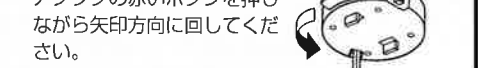
〈電池の入れ方〉

1. リモコン裏面の電池カバーを軽く押しながら手前に引いて外してください。
2. 単3形乾電池2本を、右図のように⊕⊖の向きを合わせてセットする。
3. 電池カバーをスライドさせ、カバーを閉じる。

無理にカバーを押さえたりすると、カバーツメの破損の原因となります。

リモコンケースを壁等に取り付ける場合
付属の木ネジでしっかり壁等に取り付けてください。リモコンケースに入れたままリモコン操作を行うと誤動作する場合があります。その場合はリモコンケースからリモコンを取り出し、器具の方へ向けて操作してください。

器具のはずしかた

■カバーの外しかた
カバーを左に回してください。

カバーは無理にはずさないでください。カバーの割れ、落下によるけがの原因となります。

■電源の外しかた
右図のようにコネクタの矢印部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。

■本体の外しかた
本体中央部のレバーを矢印方向へ引いてください。

■アダプタの外しかた
アダプタの赤いボタンを押しながら矢印方向に回してください。

注意　ボタンを押さずに回すと引掛シーリングが破損します。

必ず電源を切って、本体やLED光源部が冷えてから行ってください。